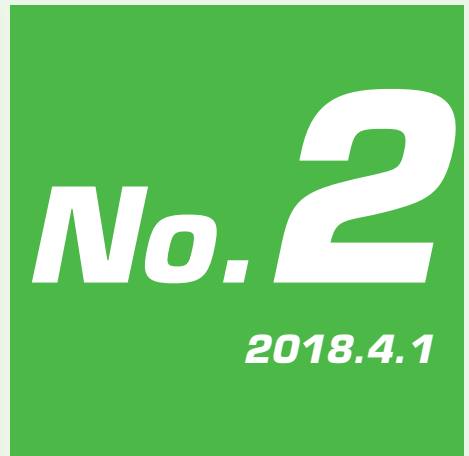
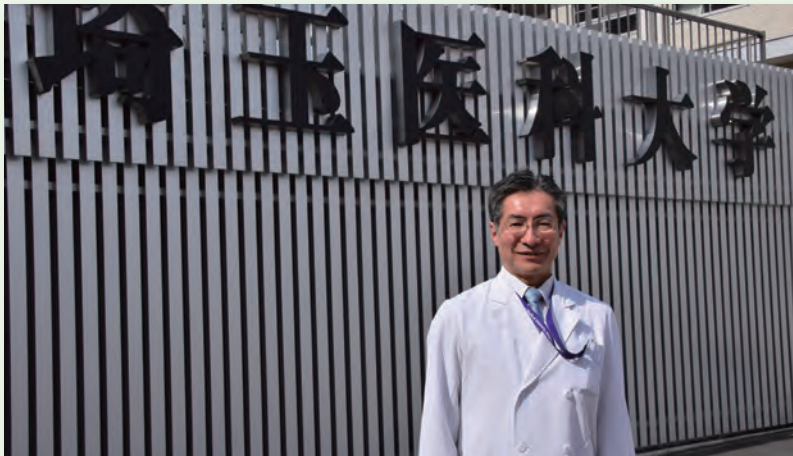


# 地域医療連携ニュース



## ごあいさつ

院長代理 三村 俊英

埼玉医科大学病院 院長代理の三村が冒頭のご挨拶を担当致します。先生方には当院との診療連携において大変お世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。当院と先生方のご施設とは様々な手段で情報交換や情報共有を行い、顔の見える双方向診療連携を心がけていますが、よりリアルタイムに近い形で当院から先生方に情報発信を行いたいと考えています。その情報発信手段として重要と位置付けておりますこの地域医療連携ニュースも第2号の発行となります。

さて、アメリカでは2015年オバマ大統領によって発表された precision medicine (プレジジョン医療) が大きく進んでいます。国内においてもそれと似た様な動きとして、難病医療の推進、がんゲノム医療の開始、患者申出療養制度の発展などがあり、特定機能病院である当院に大きく関係するとともに、先生方にもご理解いただきたいことばかりです。当院では、難病法の施行に併せて難病センターを2015年4月に開設し、診療科の壁を越えた難病の診断、治療、遺伝子診断、遺伝カウンセリングなど多くの実績を挙げています。難病関連でのご相談は難病センター (049-276-1741) に御連絡下さい。また、患者申出療養制度は、通常の治療法では治療出来ない様な特殊な病態に対して保険外・先進医療を患者さんからの申出によって可能な限り受療出来るようにするもので、特定機能病院として当院では窓口 (臨床研究センター;049-276-1354) を設置して対応しています。

当院は、通常診療以外にも多くの機能を有していますので、今後も双方向の診療連携をよろしくお願い致します。

## Contents

最近の知見 .....	2
形成外科・美容外科から	
診療科のご紹介 .....	3
総合診療内科	
小児科	
新任医師のご紹介 .....	4
小児外科	
血管外科	
病院長からのエール	
看護部から .....	5
地域医療連携室から	
カルナ(インターネット予約システム)の利用 .....	6
提携医療機関から	
シャローム病院 .....	6
松本内科・消化器クリニック .....	7

# 最近の知見:難治性創傷(治りにくいキズ)の最新治療 ～形成外科・美容外科から～

## <デブリードマンの最新技術>

壊死組織や感染巣の除去はあらゆる創傷治療に不可欠な技術ですが、これを支援する超音波デブリードマン装置が開発されています。超音波エネルギーが壊死組織の分離、殺菌、血流増加、疼痛緩和などの作用をもたらします(図1)。埼玉医大病院の臨

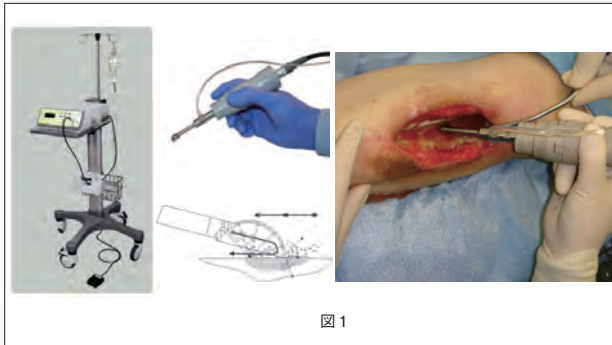


図1

床データと論文に基づいて2016年12月に薬事承認されましたが、保険点数について厚労省と折衝中で、2018年3月現在、国内では当院においてのみ使用できます。

## <強力な創傷治癒促進法>

成長因子製剤や修復組織の足場(scaffold)となるバイオマテリアル(人工真皮)など再生医療のテクノロジーを利用して創傷治癒を促進する製品が既に普及しています。

近年は局所陰圧閉鎖療法が世界を席巻しています。この治療は創を密閉して陰圧をかけることにより創の縮小、滲出液や感染性老廃物の除去、血流促進、細胞の活性化といった効果を得られ、強力に治癒を促進します。機器の承認以来、当院は本邦1位の使用実績があります。2017年には創を洗浄・灌流する機能を付加したデバイス(VAC Ultra治療システム)が上市され、局所感染を制御しながら創傷治癒を促進することが可能となりました(図2)。

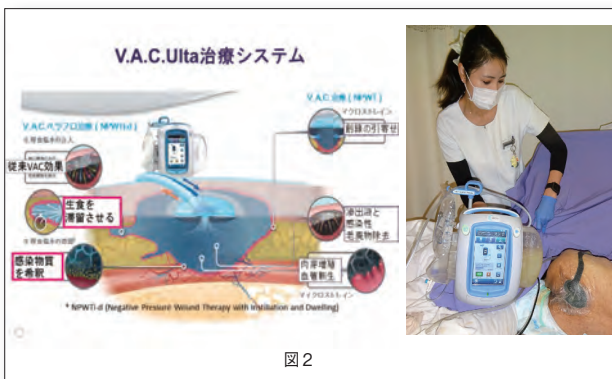


図2

## <再建外科の技術>

植皮術、皮弁形成術など手術手技も創傷治療に不可欠です。とくにマイクロサージェリーによる遊離組織移植術は大きな欠損を再建する高度な技術ですが、これまで難治性創傷への適用は限定的でした。当院形成外科では豊富な経験に基づいて高難度技術を駆使して、難治性潰瘍の形態的・機能的再建に良好な成果を上げています。マイクロサージェリーの術中風景と足底広範囲壊死の治療例です(図3)。



図3

## 埼玉医大病院の治療実績 全国10位以内にランキングされた疾患

2016年度DPC 病院1667 施設

<https://caoo.jp/hospital/detail/1111004190/achievement>

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 1位<br>糖尿病足病変、褥瘡潰瘍<br>骨髄炎(上肢以外)、壊死性筋膜炎 | 6位<br>腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性生殖器を除く)   |
| 2位<br>化膿性関節炎(下肢)<br>エクリン・アポクリン汗腺の障害   | 7位<br>顔面神経障害  |
| 4位<br>閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア                 | 8位<br>慢性肝炎(慢性C型肝炎を除く)   |
| 5位<br>アレルギー性紫斑病<br>水痘症                | 9位<br>鼠径ヘルニア  |
|                                       | 10位<br>1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)<br>その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)<br>(実績発表不全なし) |

表1

## ■診療部長のコメント

高齢化や生活習慣病・耐性菌の蔓延に伴い、褥瘡、糖尿病性・虚血性潰瘍、壊死性筋膜炎、骨髄炎、手術部位感染などの難治性創傷が増加しています。

表1はわが国すべてのDPC病院(1,667施設、2016年)の中で埼玉医大病院が症例数10位以内にランキングされた診断群です。赤丸で示すように難治性創傷に関して、全国でトップの診療実績を有しています。

難治性創傷を含めたあらゆるキズ・瘢痕に関しては是非当院形成外科にご相談下さい。

形成外科・美容外科 市岡 滋  
外来☎: 049-276-1288



## ● 総合診療内科

総合診療内科は埼玉医科大学診療の窓口としての診療科です。内科系疾患であれば、臓器にとらわれず、すべての患者さんの診療に対応します。例えば「最近、2階まで階段を上ることが辛くなった。」、このような時、どこの診療科に相談すれば良いかわかりません。息苦しくて階段を上れない、力が入らなくてのぼれない、胸が苦しくてのぼれない、いろいろな場合があります。迷った時には、まず総合診療内科に紹介してください。熱心な医師が詳しく症状を聞き、きちんと診察をして適切な判断をします。その他にも、熱がでた、息苦しい、胸が痛い、お腹が痛い、あるいは体調が悪い、等患者さんのどのような症状に対しても

我々是对应いたします。また、「他の病院で相談したけど診断がつかない。」、「お薬をもらったけど、症状が良くならない」、そのような場合にも安心しておかけ下さい。それぞれの分野の専門家もそろっており、どのような症状にも対応いたします。また、大学病院内外の多くの診療科とも連携しており、必要とあれば適切な診療科へ紹介させていただきます。他の病院や診療所からのご紹介の窓口でもあり、他院からの転院にも随時対応しています。いつでもご相談ください。埼玉医科大学病院の窓口であり、中心である総合診療内科を宜しく!



### 診療部長ご挨拶

日頃の診療では、何時も皆様にお世話になっております。心より感謝申し上げます。埼玉医科大学病院総合診療内科の医師達は、何時でも関連施設の皆様のご要望に対応できるよう日々研鑽を積んでいます。やる気のある若手医師達が日々の診療に邁進しています。何かあれば何時でもご相談ください。

総合診療内科では地域の先生方との連携をはかる試みとして、2ヶ月毎にスキルアップセミナーを各地で開催しています。ここでは、先生方からご紹介のあった患者さんの検討を含め、最新の医療を専門の先生方から学んでいます。また地域の皆さんとの懇親を計る重要な機会です。先生方、ならびに医療スタッフの皆さんのご参加をお待ちしています。埼玉医科大学は皆さんと一緒に成長して行く診療科です。埼玉医科大学総合診療内科を、宜しく御願いたします。

総合診療内科 中元 秀友  
外来☎：049-276-2034

## 診療科のご紹介

### ● 小児科

埼玉医科大学病院小児科は、生まれたての赤ちゃんから思春期まで幅広い年齢層の子どもたちを対象としている、子どもたちのための“総合内科”です。扱う疾患は、気管支炎や胃腸炎といった急性疾患から、定期的な通院が必要な慢性疾患まで様々です。

当科は小児科の中の色々な専門領域の教授陣や准教授・講師がスタッフとして揃っており、それぞれの分野のエキスパートによる充実した専門外来が開設されているのが特色です。その内訳は、アレルギー・呼吸器、内分泌・糖尿病・代謝、遺伝相談、神経・発達、腎

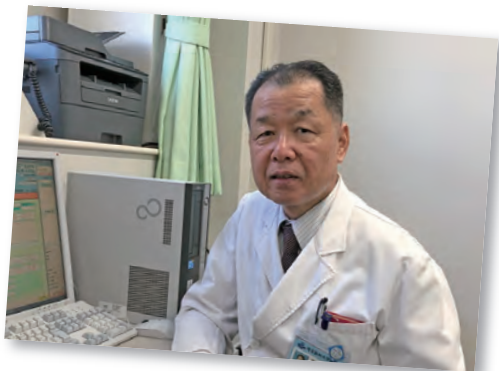
臓・膠原病、血液・腫瘍、乳児健診のほか、栄養相談や心理外来などもあり、幅広い分野をカバーしています。また、子どもは急激に症状が悪化し迅速な救急対応が必要となることしばしばですが、このような紹介もお受けしています。

当科では、1年に3回坂戸、東松山、飯能などを会場として小児診療連携の会（埼玉西北部小児科研究会）を開催し、地域医家の先生方と交流を深めております。興味のある先生方は是非ご参加ください。

### 診療部長ご挨拶

いつも大変お世話になっております。当科は埼玉西北部の小児医療の砦としての自負を持ち、専門診療に加え地域医療にも取り組んでおります。特に小児夜間・休日診療においては、地域医療連携の先生方のご協力を仰ぎながら、断らない医療を心がけています。専門診療については分野の異なる教授・准教授陣が曜日によって初診外来を分担しておりますので、遠慮なくご紹介下さい。

小児科 徳山 研一  
外来☎：049-276-1283



● **小児外科 教授 尾花 和子 (おばな かずこ)**



2018年1月1日付で埼玉医科大学病院小児外科の教授を拝命いたしました。

私は1986年に山口大学医学部を卒業し、東京大学小児外科に入局して、東大病院および関連施設にて小児外科診療に携わってきました。埼玉県では、1991年から1994年まで岩槻の県立小児医療センターで勤務したことがありますが、県西部に参りましたのは初めてです。

小児外科は成人領域では一般外科に相当しますが、一部他科の領域ともオーバーラップし、また、便秘症や胃食道逆流症に対する検査、治療や、胃瘻や在宅静脈栄養なども担当します。私は、周産期や小児救急での外科疾患の診断・治療に興味を持ち、多分野の方々とともに関わってまいりました。また、近年注目されている栄養管理にも関わり、外科治療後のこどもたちの発育や成人期への移行にも力を注いでおります。日常診療をサポートするgeneralistとして地域のお役にたてることを目指

していく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

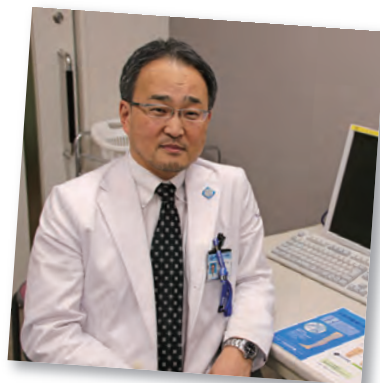
**新任医師のご紹介**

● **血管外科 教授 河野 康治 (こうの こうじ)**

2017年11月に、埼玉医科大学病院血管外科教授として着任いたしました。私は2003年に本学を卒業後、関東通信病院心臓血管外科でトレーニングを受けました。その後、榊原記念病院で小児心臓血管外科、国立国際医療センター、オーストラリアでの臨床留学の後、東京女子医科大学東医療センターに入局し、関連施設で臨床を行って参りました。心臓大血管の手術の他、近年は末梢血管に力を入れてきました。

中でも最近力を注いでいるのは、下肢静脈瘤の血管内レーザー焼灼術です。

足のだるさ、血管の怒張、皮膚の色素沈着等の症状から、重症化すると難治性潰瘍となり治療に時間を要します。機器は最新のもので、国からの認定を受けており、保険適応で診療が出来ます。1泊2日で、侵襲が少なく傷も小さく痛みも最小限ですみます。高齢の方でも治療を受ける事ができ、多くの患者さんが翌日から普通の生活を行う事ができます。潜在的に悩んでいる患者様は、数多いと言われております。今後とも、地域の先生と医療連携に努めて参ります。何かありましたら、お気軽に御相談いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



● **病院長からのエール**

2017年11月1日付で血管外科に河野康治教授が赴任され、2007年4月に国際医療センターがオープンしてから不在であった血管外科に新たな常勤医を迎えることができました。河野先生には心臓大血管手術のキャリアもありますが、まず当院で必要とされている末梢血管外科の治療体制を確立していただくことを期待しております。特に、地域のニーズが高いと考えられる下肢静脈瘤に対するレーザー焼灼術については、なるべく早期に実施できるように体制を整える所存です。さらに、集中治療部における循環器管理にも尽力していただき、大学病院の医療の質向上に貢献していただきたいと思います。

本年1月1日付で小児外科に赴任していただいた尾花和子教授は、小児外科のなかでも周産期や救急の分野に興味を持って診療してこられた先生です。当院の周産期医療の質向上に貢献していただけるものと期待しております。加えて栄養管理の専門家でもあり、栄養サポートチームの活動がさらに充実すると思われま



## 看護部から

今回は皮膚・排泄ケア認定看護師の活動について紹介します。皮膚・排泄ケア認定看護師は創傷管理および排泄管理を要する患者さんとそのご家族に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護の提供と看護職からの創傷および排泄管理についての相談に応じる活動をしています。

埼玉医科大学病院では消化器外科、泌尿器科、形成外科、女性ヘルスケアセンターの医師らと協働して皮膚・排泄ケア認定看護師が表に示した看護外来を担当しています。また、その他に褥瘡予防とケアの実際、オムツかぶれの予防とケア等の相談も受けております。

患者さんにご家族に対して看護の視点で患者さんが持つそれぞれの問題やご希望に対して、専門的知識と技術を用いてその問題を解決に導き、生活の質向上に向けたケア介入をしています。

そして現在、在宅でこれらの創傷管理および排泄管理でお困りの方々に対しては、訪問対応ができるように準備を進めております。準備が整い次第、地域の皆様にはご報告させていただきます。

外来名	曜日	対象
ストーマ外来	毎週水曜日 (完全予約制)	ストーマを造設した患者さん
足病ケア外来	毎週火曜日 (完全予約制)	糖尿病性足変形、リウマチ足、肥厚爪、胼胝・鶏眼等の患者さん
女性骨盤底ケア外来	毎週金曜日の午後 (完全予約制)	骨盤臓器脱、過活動膀胱、尿・便失禁等の患者さん
排尿機能外来(ケア枠)	隔週月曜日午後 (完全予約制)	骨盤臓器脱、過活動膀胱、尿失禁等の患者さん



## 地域医療連携室から

### 医療機関の皆様へ

地域医療連携室では、医療推進、機能分化に伴う集約的な窓口として、医療機関からのカルナ（インターネット予約システム）やFAX紹介による診療予約受付、外来担当医表の発送、などを行っています。

紹介元の先生方からの患者紹介に関する問い合わせ（受診相談、転院相談等）については、直接該当科外来へお電話をお願い致します。

連携医療機関からの各種問合せに関して迅速に対応させていただいております。また、紹介医療機関への報告書（お返事）が滞ることのないように、病院連携システムにて管理しております。未報告に関しては外来と連携をとり対応させていただきます。

### 患者さんをご紹介頂くにあたって

当院では地域の医療機関と、患者さんに一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療提携を図ることを目的として提携医療機関・登録医制度を設けています。登録頂きカルナ（インターネット予約システム）をご利用頂きますとインターネットで診療及び検査の予約が行えます。

### シンフォニーについて

埼玉医科大学病院は地域の先生方との顔の見えるきめ細かい情報交換を行い、さらに地域との連携を深めてまいりたいと考え、シンフォニー（紹介患者報告会）を2012年から毎年2回開催しております。

#### 【シンフォニー】

紹介して下さった地域の先生方に、患者さんのその後の経過を主に診療科の特色等も交えながらの報告会です。

地域医療連携室 049-276-1876

# カルナ(インターネット予約システム)の利用

## 提携医療機関・登録医制度について

埼玉医科大学病院と地域の医療機関とで、患者に一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療連携を図ります。

## 提携医療機関・登録医、カルナシステム利用について

### 1. 「提携医療機関・登録医申請届」を提出してください。

▶ カルナシステムを利用されたい方は、申請届を提出する際に申し出てください。



提携医療機関・登録医 申請届  
 平成 年 月 日

埼玉医科大学病院  
 病院長 織田 弘美 殿

私は、埼玉医科大学病院 病診連携システム(提携医療機関・登録医制度)の主旨に賛同し、登録申請いたします。

登録医師名 1医療機関1名(理事長・院長・所長等を明記)

医療機関名

診療科目名

郵便番号

医療機関所在地

電話番号

FAX番号

カルナ希望 あり なし(どちらかに○をつけてください)

## 提携医療機関から

### シャローム病院 (東松山市)

当院(東松山)、分院(坂戸につさい)共にカルナを利用させていただいております。私の身内が受診時にもカルナにて予約し、待ち時間が少ない受診形態を患者本人が喜んでおりました。

カルナを利用する方は、通常は、受診までの日数にある程度の余裕がある方です。それ以外に、急患ないしは准急患症例に外来枠(その場合は予約日が当日であったり、翌日であったりしますが)の設置があると大変助かりますがご検討をお願いします。

院長 鋤柄 稔

### 医療機関情報

在宅医療・緩和医療・救急医療を特性とし、外来診療の他、一般病棟、緩和ケア病棟を有しています。多職種、他施設と連携し、外来・在宅・入院と患者さんの状態やご希望に沿った医療でご支援します。



診療科目：一般外来・緩和ケア内科・皮膚科・小児科・乳腺外来・神経内科・循環器内科

診療時間：各診療科により異なります。  
 ※原則予約制  
 一般外来 午前8:30～午後0:00  
 午後2:30～午後6:30  
 (土曜午後4:00～午後6:30)

休診日：日曜・祝日・夏季・年末年始

ホームページ： <http://shalorm.or.jp/>



### 2-1. 患者紹介(外来診療予約)について

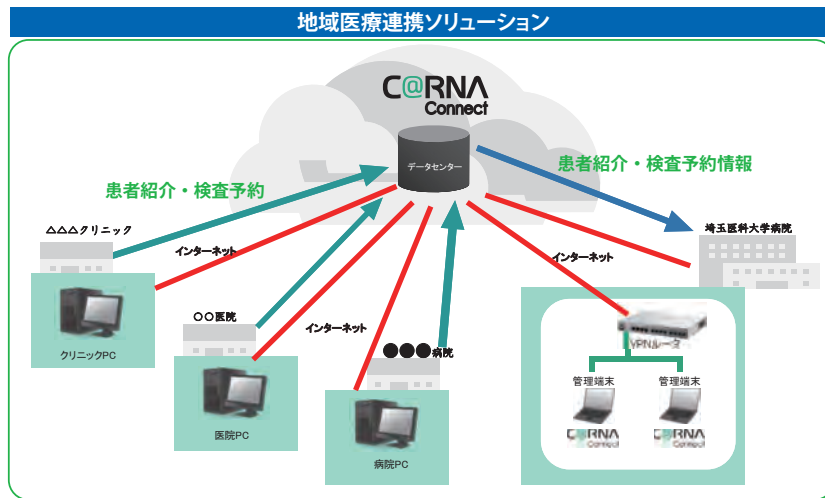
- ①カルナシステムでは、指定の予約枠に入力していただくことで、予約が取得できます。
- ②患者さんは医務課での初診受付は必要なく、直接診療科外来で受け付け、お待ちいただけます。

### 2-2. 特定の検査の依頼について

- ▶カルナでは、CT検査、MRI検査、アイソトープ検査、骨シンチ、心エコー検査、腹部エコー検査などの検査もご利用できます。
- 検査終了後すみやかに、専門医の読影報告書を送付いたします。

### 2-3. 受診報告について

- ▶紹介患者さんが受診後には、報告書を送付させていただきます。



## 松本内科・消化器クリニック (坂戸市)

当院は、消化器診療を中心に、生活習慣病や一般内科の診療、外傷や小手術などの外科治療を行なっています。急性腹症で出血、膿瘍、腫瘍が疑われる場合や、脳梗塞が疑われる患者さんなど、診断に苦慮する時に、カルナシステムを利用することによって、スムーズな検査予約が可能になり、かつ放射線専門医が読影した報告書がオンラインで送られ、検査当日の夕方には患者さんへ結果を伝えることができます。また各診療科への紹介の際、予約画面を患者さんと一緒に見ながら希望の時間を選ぶことができ、当院においてカルナシステムは大変便利な紹介ツールになっています。



院長 松本 隆

### 医療機関情報

診療科目：内科・消化器内科・外科・肛門外科  
 診察日：月、火、水、金曜日  
 午前9:00～午後0:00  
 午後3:00～午後7:00  
 木、土曜  
 午前9:00～午後0:00



## 埼玉医科大学 建学の理念

- 第1. 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる  
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2. 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長を  
主体的に開展し得る人間の育成
- 第3. 師弟同行の学風の育成

## 埼玉医科大学の期待する医療人像

- 高い倫理観と人間性の涵養
- 国際水準の医学・医療の実践
- 社会的視点に立った調和と協力

## 埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

## 病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

## 患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。  
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利
3. ご自分の希望を述べる権利
4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

## 連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター・中毒センター：049-276-1199  
地域医療連携室(カルナ・FAX紹介)：049-276-1876  
番号案内：049-276-1111

総合相談センター(退院調整)：049-276-2119  
セカンドオピニオン受付：049-276-1121



## 埼玉医科大学病院

### 地域医療連携ニュース(2号)

発行：埼玉医科大学病院  
発行責任者：織田 弘美  
編集：埼玉医科大学病院広報戦略委員会  
編集責任者：篠塚 望  
電話：049-276-1876 地域医療連携室  
住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38  
発行日：平成30年4月1日  
ホームページ：<http://www.saitama-med.ac.jp/hospital>

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。